

特別支援教育における養護教諭の役割に関する研究(3)

—養護教諭とストレスとの関係について—

○小杉 幹子 林 幸範 石橋 裕子 林 廣徳

(NPO人間科学研究所) (こども教育宝仙大学) (帝京科学大学) (白梅学園大学大学院こども研究科)

1. 目的

本研究は、養護教諭の特別支援教育における役割や校内での位置づけ等を明確にするために、(1)で実施した調査のうち、「養護教諭とストレスとの関係」について報告をする。

2. 方法

方法の詳細…「特別支援教育における養護教諭の役割に関する研究(1)」を参照。

3. 結果

(1)ストレスを感じているか…(一般学校)『とても感じている』10.9%、『感じている』55.3%、『どちらでもない』22.1%、『感じていない』7.9%、『全く感じていない』0.3%。**[特別支援学校]**『とても感じている』14.6%、『感じている』49.6%、『どちらでもない』21.9%、『感じていない』8.0%、『全く感じていない』2.2%。**(2)過去1年間にあったこと(複数回答)…(一般学校)**「自分自身のこと」55.0%・「健康や病気のこと」52.4%・「親とのこと」44.1%の順。**[特別支援学校]**「自分自身のこと」健康や病気のこと各48.2%・「自分の将来のこと」44.5%の順。

(3)不定愁訴(18項目：4段階評定)…①頻度：(一般学校)1)『ない』が『ある』よりも多い～「ねむい」20.0%<78.5%・「肩がこる」21.2%<77.4%・「目がつかれる」20.9%<77.4%・「イライラする」30.3%<68.2%・「根気がなくなる」32.9%<65.3%・「横になって休みたい」35.6%<62.6%・「体がだるい」37.6%<60.9%・「頭が痛い」39.4%<59.4%・「考えがまとまらない」41.8%<56.5%の9項目。2)『ない』が『ある』よりも多い～「大声を出したり、思いっきりあばれまわりたい」80.0%>18.2%・「おなかが痛い」76.2%>22.4%・「夜眠れない」76.2%>22.4%・「急に立った時に倒れそうになったり、めまいがする」69.7%>28.8%・「人と話すのがいや」67.9%>30.6%・「便秘や下痢をする」56.8%>41.8%の6項目K。3)『ない』と『ある』がほぼ同じ～「頭が重い、ぼんやりする」46.5%≒52.1%・「何もやる気がしない」50.6%≒47.6%・「腰や手足が痛い」50.3%≒48.2%の3項目。**[特別支援学校]1)『ない』が『ある』よりも多い**～「ねむい」13.1%<86.9%・「肩がこる」20.4%<78.8%・「目がつかれる」27.7%<72.3%・「横になって休みたい」32.1%<67.9%・「イライラする」32.8%<67.2%・「考えがまとまらない」38.7%<60.6%・「体がだるい」39.4%<60.6%・「根気がなくなる」39.4%<59.9%の8項目。2)『ない』が『ある』よりも多い～「夜眠れない」82.5%>17.5%・「おなかが痛い」80.3%>19.7%・「大声を出したり、思いっきりあばれまわりたい」80.3%>19.0%・「急に立った時に倒れそうになったり、めまいがする」64.2%>35.8%・「人と話すのがいや」75.2%>24.8%・「便秘や下痢をする」56.2%>43.8%・「腰や手足が痛い」55.5%>44.5%の7項目。

3)『ない』と『ある』がほぼ同じ～「頭が重い、ぼんやりする」52.6%≒47.4%・「頭が痛い」49.6%≒50.4%・「何もやる気がしない」50.0%≒49.3%の3項目。②得点[平均;SD]：(一般学校:n=340)1)「精神的疲労状況」の得点[17.9;3.417]、内訳—7項目の得点「ねむい」[3.0;0.732]・「イライラする」[2.7;0.696]・「根気がなくなる」[2.7;0.660]・「横になって休みたい」[2.8;0.844]・「考えがまとまらない」[2.6;0.680]・「何もやる気がしない」[2.4;0.732]・「大声を出したり、思いっきりあばれまわりたい」[1.8;0.770]。2)「身体的疲労状況」の得点[18.3;3.754]、内訳—7項目の得点「肩がこる」[3.1;0.914]・「頭が痛い」[2.5;0.745]・「体がだるい」[2.6;0.760]・「腰や手足が痛い」[2.4;0.855]・「目がつかれる」[3.0;0.783]・「頭が重い、ぼんやりする」[2.5;0.725]・「急に立った時に倒れそうになったり、めまいがする」[2.1;0.784]。3)「重度な疲労状況」の得点[8.2;2.271]、内訳—4項目の得点「人と話すのがいや」[2.1;0.779]・「おなかが痛い」[1.9;0.785]・「夜眠れない」[1.9;0.779]・「便秘や下痢をする」[2.3;0.838]。4)「総合的な状況」の得点[44.3;7.761]。**[特別支援学校:n=137]**

1)「精神的疲労状況」の得点[17.8;3.613]、内訳—7項目の得点「ねむい」[3.1;0.705]・「イライラする」[2.7;0.713]・「根気がなくなる」[2.6;0.731]・「横になって休みたい」[2.7;0.805]・「考えがまとまらない」[2.6;0.697]・「何もやる気がしない」[2.4;0.767]・「大声を出したり、思いっきりあばれまわりたい」[1.89;0.793]。2)「身体的疲労状況」の得点[17.9;4.272]、内訳—7項目の得点「肩がこる」[3.1;0.887]・「頭が痛い」[2.4;0.823]・「体がだるい」[2.6;0.816]・「腰や手足が痛い」[2.4;0.915]・「目がつかれる」[2.9;0.839]・「頭が重い、ぼんやりする」[2.4;0.820]・「急に立った時に倒れそうになったり、めまいがする」[2.2;0.812]。3)「重度な疲労状況」の得点[7.7;2.319]、内訳—4項目の得点「人と話すのがいや」[1.9;0.781]・「おなかが痛い」[1.8;0.759]・「夜眠れない」[1.7;0.781]・「便秘や下痢をする」[2.3;0.918]。4)「総合的な状況」の得点[44.3;7.761]。**(4)解消法(複数回答)…(一般学校)**『趣味や好きなことをする』63.5%・『食べたり飲んだりする』8.5%・『買い物へ行く』52.9%の順。**[特別支援学校]**『趣味や好きなことをする』59.9%・『食べたり飲んだりする』『休けいやごろ寝をする』各58.4%の順。

4. 考察・まとめ

以上のことから、両学校の養護教諭とも、ストレスを感じており、自分自身のことや健康や病気のこと原因と考えられる。また、不定愁訴も、両学校の養護教諭とも差がなく、さらに、解消法にも差がない。しかしながら、夜眠れないなどが2割前後、人と話すのが嫌になるのが3割前後もあり、両学校の養護教諭とも重度のストレス状態であると考えられよう。